

電気安全九州委員会「第61回委員会」を開催しました

電気安全九州委員会は、令和元年5月22日に福岡市内で第61回委員会を開催。「平成30年度事業及び収支決算報告」、「令和元年度事業計画及び収支予算（案）」、「電気安全九州委員会規約の改定」、「電気安全九州委員会役員等の選任」の4議案を上程・審議し、全て原案どおり承認されました。

冒頭で挨拶に立った小野委員長は、「平成30年度は前年度に引続き感電死亡事故がなかったものの、負傷事故は11件発生しており、引き続き対策が必要な状況」と指摘、「令和は、人々が心を寄せ合い明るい未来を引き継いで取り組んでいく時代になって欲しい、という願いが込められているそうである。我々委員会もその一翼を担っていくよう皆さまのご支援を頂き、電気保安の確保と電気事故の未然防止を図り、感電死亡事故ゼロを目指していきたい」との考えを示しました。



電気安全九州委員会
小野委員長

引き続き、委員会顧問の新井憲一九州産業保安監督部長が挨拶し、日頃からの電気保安確保への取組みに対する感謝の意を述べられた後、「平成30年度は、全体の事故発生件数は例年なみだったが、外壁塗装中に感電するなど公衆感電事故が依然として発生しており、同種の事故防止対策が必要」と指摘。「こうした事故防止を含め、電気保安の課題解決を図るため、経済産業省では電気保安のスマート化に取り組んでおり、事業者の保安向上を図るとともに、自主保安の高度化を目指しているところ」と述べるとともに、「関係機関と十分に連携をはかりつつ、最大限の努力をはかっていく所存である」との考えを示しました。



九州産業保安監督部
新井部長

なお、令和元年度の具体的な事業については、

- (1)電気安全に関する意識の啓発を図るため、「電気使用安全月間」を中心に電気関係業界と協力し、積極的なPR活動等を実施する。また、様々なツールを活用した情報発信の充実に取り組むとともに、VRを活用した安全教育に取り組む。
- (2)自家用電気工作物施設者への実態調査を行い、電気保安功労者についての表彰を実施する。
- (3)電気事故防止及び、安全確保を図るとともに、電気技術者の技術向上を推進するため、各種講習会を開催または協賛する。

を柱として計画しています。



委員会の様子